図書館だより

市立図書館

◆本のインターネット予約

読みたい本が貸出中の場合、スマートフォンやパソコンから予約をすることができます。また、予約後に本の準備ができたら図書館からの連絡をメールで受け取ることができます。図書館に来なくても読みたい本の検索や予約をする事ができ、大変便利です。

申込方法など、詳しくは香美市公式ホームページ『図書館システムインターネット予約について』をご覧ください。

【問い合わせ先】
本館☎53・0301

◆本の寄贈について

図書館では、多くの皆さんから図書の寄贈をいただいています。寄贈図書の取り扱いは概ね次のとおりです。

①『香美市立図書館資料収集方針』に適合し、現在図書館が所蔵していない図書を受入れしています。

②香美市や高知県について記載された郷土に関する資料は積極的に受入れをしています。

③破損・汚損がある図書や、記述や情報が古い図書は受入れができないことがあります。

④所蔵とならなかった場合はリサイクル本として、各種団体や市民の皆さんへ提供し、再活用をしています。

【問い合わせ先】
本館☎53・0301

読書リレー No.008

高知工科大学インターンシップ生
小湊わかなさんのオススメ

ナミヤ雑貨店の奇蹟
東野　圭吾　著

敦也をはじめとする３人の男が忍び込んだのは空き家になっているナミヤ雑貨店だった。そこは、かつては悩み相談を行っていて、店主である浪矢(なみや)がお客さんの悩みが書かれた手紙に回答をしていた。しかし、1980年に書かれた手紙がなぜか敦也たちのいる2012年のナミヤ雑貨店に届き、敦也たちがその手紙に回答することに！現代と過去をつなぐ不思議な物語。

Pick Up

名画の中の料理
メアリー・アン・カウズ著

モダニズム初期の印象派から現代美術まで、数々の作品を紹介すると共に、その絵画から連想されるレシピや、現代の作家や詩人たちの食にまつわる文章が添えられた味わい深い一冊。

かっこいい福祉
村木　厚子　著
今中　博之　著

福祉の制度と現場に精通した２人の著者の対談と寄稿からなる。障がい者就労や福祉のあり方、民間との関わり方や低賃金問題の解決策、２人の幼少期からの体験など多岐にわたる。

香美市森林環境税活用事業

かみんぐBABY木のギフト

井筒屋さんを訪問しました！

かみんぐBABY木のギフトで、積み木や子供用のイス、テーブルを作っていただいている「（株）井筒屋」（高知市）を訪問してきました。

井筒屋さんは、おもちゃ作りが本業ではなく、学校や保育園などの下駄箱や棚などを作る、70年続く別注家具屋さんです。『なぜ、家具屋さんが積み木づくりを？』きっかけは、高知東ライオンズクラブの周年事業の贈答品作成を任されたことでした。どんなものが喜ばれるのか考え、『子どものためになるもの』にたどり着いたとのこと。

そこで、おもちゃの国ドイツで視察し、『実際に自然の木に触れてもらい、優しい気持ちを育んでもらいたい！』と思い、積み木にすることを決心したそうです。家具職人が作る積み木は、寸法にミリ単位の狂いもなく精度がとても良いため、どこまでも高く積みあげることができ、子ども達にとって夢のような積み木です。また、サンドペーパーを使って手作業で丁寧に磨き上げられているため、安心して遊べます。職人さんの確かな技術と、お子さんの健やかな成長を願う優しい思いであふれている会社でした。【問い合わせ先】農林課林政班　☎52－9283

ライト点灯はお早めに

９月３０日、たそがれどきライト早期点灯啓発パレードが開催されました。香美市交通安全対策推進会議が主催で香美市内を巡回し、夕方のライト早期点灯の啓発を行いました。

日没前後の時間帯は、景観全体が青っぽく見え、色の判別がしにくくなります。特に赤色や橙色は、黄昏の闇にまぎれて、特に識別が困難になる色で、この時間帯に交通事故が多発しており、事故の予防のために毎年開催しています。

白髪山に登ったよ！

１０月７日、大栃小学校５・６年生が物部町の白髪山に登りました。児童たち（５年生９人と６年生８人）は、総合的な学習の時間に、物部の魅力を体験し、多くの人に知ってもらうために活動しており、授業の一環で白髪山の頂上まで登りました。

登っている途中は辛そうにしている子もいましたが、滝雲や紅葉を楽しみ、頂上では素晴らしい景色を眺めながら、みんなでお弁当を食べることができました。子ども達は達成感を味わい、登山や自然の魅力を感じることができたことでしょう。

第138回高知県市長会開催

１０月６日、第１３８回高知県市長会が中央公民館で開催されました。本会議は県内１１市の市長が集まり、年２回開催しているもので、県への要望事項をまとめるものです。

本年、新型コロナウイルス感染症の影響で、春の宿毛市での開催は書面議決となりました。今回の市長会では、防災・減災事業の補助の充実や、新型コロナウイルス感染症への対策などについて話し合われ、提出された要望事項はいずれも全会一致で承認となりました。

▲開催市長挨拶

歴史の道を駆け抜けろ

１０月４日、今年で９回目の開催となる『土佐塩の道トレイルランニングレース』が開催されました。

香美市と香南市をまたがる塩の道を中心に、龍河洞の洞内や、西川花公園などを通る２市の魅力がつまった３８kmのコースを、１８２人のランナーが走り抜けました。本レースには、応募開始わずか１時間で定員を超える応募がありました。

当日は、日差しが照る時間もあり、ランナーの皆さんの頑張る姿と、スタッフやボランティア、そして地元の方々のあたたかい応援も重なり、非常に熱い大会となりました。